

第 2 期

事業報告書

平成 30 年 6 月 1 日から
令和元年 5 月 31 日まで

株式会社 豊かな丘

事業報告

第2期にあたる平成30年6月以降の日本は、各地で大型台風や線状降水帯などによる大雨や暴風に見舞われ、夏には災害級と言われる猛暑が日本列島を包み込みました。さらには、大阪北部地震や北海道胆振東部地震が発生するなど、数多くの災害・異例な気象現象が目立った1年でした。豊丘村においても、経験の無いほどの猛暑日が続き、加えて、伊勢湾台風並みと言われる二つの大型台風の接近により災害や農作物等への影響が心配されましたが、最小限の被害で収まりました。代わりにこの台風は松茸生育の適期に、適度な雨をもたらし、松茸の収穫量は近年稀にみる大豊作となりました。明けて今春は、4月10日に季節外れの大雪に見舞われ、また、4月末には遅霜に見舞われたため、村の主力である果樹を中心に農作物への影響が心配されています。

さて、当社の第2期は、開業後の混雑が落ち着き始めた6月1日からスタートしましたが、運営面においては、課題が山積していたため、期間を通じて手探りという状態が続きました。

そのような中において、6月9日・10日に開催した道の駅感謝祭を皮切りに、各種イベントを定期的で開催することで、内外への認知度の向上を図り、新たな来場者の確保に努めました。また、レストラン部門「kitchen そらら」においては、予約制での夜間営業も始め、地域食材を活用した新メニューの開発を積極的に行い、新たな客層の確保を図るとともに、テイクアウト部門「BAKERY CAFE きらら」では、村内で栽培した小麦を使ったパンを製造するなど、地元素材にこだわった商品展開を図り、リピーターの確保に努めました。

当駅を会場に7月上旬から開催された桃狩り観光は、多い日で20台以上もの観光バスが来駅し、また、新たな観光バスの立ち寄りプランを獲得できたことなどにより、12月中旬まで観光バスが来駅しました。9月の下旬からは、豊作の松茸が出荷されるようになるとともに、豊丘村の強みである、りんごや梨、ぶどうなどの果物の品揃えが充実し始め、それら特産品を目的に来駅されるお客様が増大し、農産物直売部門「四季彩市場」の10月の売上は

期中最高の 2,500 万円となりました。このように農産物直売部門においては、立ち寄りバスへの的確な対応を図るとともに、生産者の協力を得る中で豊富で多彩な品揃えを確保し、お客様の需要に応えるよう努めました。

惣菜部門、加工部門においては、NPO 法人加工組合かあちゃんの店からの事業を引き継ぎ、当社の部門として運営できる体制を整備しました。多くの来場者がある道の駅での常設販売の効果は大きく、売り上げが増加してきています。

これら道の駅全体、各部門の取り組みにより、年間来場者数は推計で 40 万人を超えるものとなりました。

駐車場や 24 時間トイレなどの「道の駅機能」施設については、豊丘村からの管理委託料により適切な管理に努め、24 時間トイレについては、3 月 22 日に長野県から「信州まごころトイレ」の認定を受けました。また、村が情報提供休憩施設に、有人の観光案内所「だんきゅうベース」を、NPO 法人とよおか総合型地域スポーツクラブに運営を委託し、4 月 1 日から設置しました。有人化による効果は大きく、連日、多くの方が訪れる、豊丘村の観光の拠点となりました。加えて、村の地域おこし協力隊との連携により、ストリートピアノや、獅子頭等をペイントしたタペストリーなど、「写真映え」するスポットを設置し、来場者数の増加につなげました。

今期は、第 2 期というものの、実質 1 年目であったため、「走りながら、解決する。」状況でした。加えて、当駅の立ち上げに、3 年 8 カ月もの間、陣頭指揮を執っていただいた前支配人が、体調を崩し余儀なく退職するに至り、後任として、当駅建設段階から前支配人とともに関わってきた現支配人が、期中半ばの 12 月に、村から出向で着任することもあって、組織面、執行体制面において不安定な状況でした。現在においても不備、課題が多く、早急に改善、解決し、会社組織の基盤を整備することが求められています。

1. 統計

(1) 来場者数 (※来場者推計方法：レジ数×2.5人)

単位：人

| | 四季彩市場 | | そらら | きらら | | 合 計 |
|-----|---------|---------|--------|--------|---------|---------|
| | レジ数 | 来場数 | 利用数 | レジ数 | 来場数 | |
| 6月 | 12,160 | 30,400 | 2,647 | 6,612 | 16,530 | 49,577 |
| 7月 | 11,416 | 28,540 | 2,187 | 5,210 | 13,025 | 43,752 |
| 8月 | 13,638 | 34,095 | 2,315 | 5,140 | 12,850 | 49,260 |
| 9月 | 10,184 | 25,460 | 2,186 | 4,254 | 10,635 | 38,281 |
| 10月 | 12,154 | 30,385 | 2,673 | 4,719 | 11,798 | 44,856 |
| 11月 | 9,080 | 22,700 | 2,278 | 3,830 | 9,575 | 34,553 |
| 12月 | 7,291 | 18,228 | 1,493 | 2,572 | 6,430 | 26,151 |
| 1月 | 4,342 | 10,855 | 1,544 | 1,957 | 4,893 | 17,292 |
| 2月 | 4,694 | 11,735 | 1,960 | 2,401 | 6,003 | 19,698 |
| 3月 | 7,493 | 18,733 | 2,565 | 3,156 | 7,890 | 29,188 |
| 4月 | 9,534 | 23,835 | 2,799 | 4,022 | 10,055 | 36,689 |
| 5月 | 10,401 | 26,003 | 2,954 | 5,359 | 13,398 | 42,355 |
| 合計 | 112,387 | 280,969 | 27,601 | 49,232 | 123,082 | 431,652 |

(2) イベント等開催実績

| | |
|--------------------|------------------|
| 6月 9日(土)～10日(日) | 道の駅感謝祭 |
| 8月 20日(月)～31日(金) | ぐるめぐりスタンプラリー |
| 10月 27日(土) | みんなのマルシェ |
| 12月 22日(土)～23日(日) | クリスマスイベント |
| 3月 9日(土)～10日(日) | ひなまつりイベント |
| 3月 21日(木) | かあちゃんマルシェ |
| 4月 13日(土)～14日(日) | からふるマーケット |
| 4月 27日(土)～5月 6日(月) | 1周年記念イベント |
| 毎月第2土・日曜日 | かあちゃんマルシェ(3/21～) |
| 毎月第3日曜日 | 3SUN マルシェ(4/21～) |

(3) 広報実績

| | |
|---------------|--------------------|
| 広報とよおか | 1月号から毎月掲載 |
| 月刊いいだ | 2月号から毎月掲載 |
| とよおか放送ネットワーク | 音声放送・文字放送随時 |
| チラシ（村内外1万部程度） | 4回 |
| 雑誌 | 「東海じゃらん」「東海ウォーカー」等 |

2. 農産物直売部門

期末の出荷登録者数は350人を超え、沢山の農産物を出荷いただけるようになり、商品が安定的に棚に並ぶようになりました。また、見込み利用客の状況を出荷登録者へ事前にメールで配信することで、開店時間前に加え営業時間中のお荷にもご協力いただきました。期中の農産物の売上高は1億円を超え、土産品を含めた売上高は1億6,800万円となりました。

これまでに農産物等のショッピングを目的とした観光バスの立ち寄りプランを獲得できたことにより、観光バスが来駅いただけるようになり、今までこの地域にない新たな需要を生み出しています。

今後、安定した運営基盤とするためには、「南信州の台所」として、地域内の方々のご利用を増大させることが不可欠であり、観光バスの立ち寄りを獲得しつつ、地域内の方々、出荷登録者にとって魅力的な店となるよう努めます。

3. テイクアウト部門

パン製造については、「国産小麦」「生地から手づくり」をコンセプトに事業を展開し、その味を楽しみにされるリピーターが多くいらっしゃいます。現有のスタッフ数で「手づくり」出来る製造数により、今期の運営を行ってまいりましたが、土日祝日を中心に品不足が発生することがあり、製造数を増加できる体制の整備が必要となっています。

ジェラート製造においては、地元の市田酪農牛乳を使用し、季節に応じた新しい商品を開発してきており、販売数は順調に推移しています。

4. レストラン部門

「地元食材の活用」「一品一品手づくり」「家族に接するような接客」をコンセプトに事業を展開してきたところ、それに呼応するように、内外での認知度が向上し、休日平日を問わず、多くのお客様が訪れていただける店に成長しました。また、夜間営業の開始、地元食材を活用したメニュー開発等、新しさを創出するよう努めてきており、今後においてもコンセプトに沿って、より良い店づくりに取り組んでまいります。

5. 惣菜部門

NPO 法人加工組合かあちゃんの店から事業を引き継ぎ、道の駅内の厨房で惣菜を製造し、農産物直売所「四季彩市場」にて販売を展開してきました。手間暇惜しまない、まごころ惣菜は、毎日食べられる優しい味が好評です。

毎日、昼に陳列する商品数は、現有スタッフ数で製造できる限界に近く、また、売場の陳列場所や方法についても課題が浮き彫りとなっており、改善に向けて積極的に取り組んでまいります。

6. 加工部門

NPO 法人加工組合かあちゃんの店から事業を引き継ぎ、加工品は農産物直売所「四季彩市場」にて販売を展開してきました。多くの来場者がある道の駅での常設販売の効果は大きく、漬物を中心に品切れするほど販売数を伸ばしました。しかし、加工品原材料については、生産者が農産物直売所へ出荷するようになったため、生産者からの調達量が減少してきており、増産に向けての課題となっています。

また、スタッフの高齢化が顕著であるため、新たな担い手の確保が急務となっていますが、年間通じた業務がないため、担い手確保が出来ない状況となっています。抜本的な改善に向けて取り組んでまいります。

第 2 期

決 算 報 告 書

平成30年 6月 1日から
令和 1年 5月31日まで

株 式 会 社 豊 かな 丘

(法人番号:5100001030824)

貸借対照表

商号 株式会社 豊かな丘

代表者 菅沼 康臣

令和 1年 5月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|-------------|----------------|---------------------|----------------|
| (資 産 の 部) | | (負 債 の 部) | |
| I 流 動 資 産 | (72,468,497) | I 流 動 負 債 | (26,467,378) |
| 現金及び預金 | 67,120,961 | 買掛金 | 5,471,985 |
| 売掛金 | 1,317,151 | 未払法人税等 | 15,648,243 |
| たな卸資産 | 3,110,063 | 未払り受金 | 5,332,000 |
| 未収入金 | 920,322 | 仮受金 | 13,150 |
| | | 2,000 | 2,000 |
| II 固 定 資 産 | (0) | II 固 定 負 債 | (0) |
| 有形固定資産 | (0) | | |
| 無形固定資産 | (0) | | |
| 投資その他の資産 | (0) | | |
| | | 負債の部合計 | 26,467,378 |
| | | (純 資 産 の 部) | |
| | | I 株 主 資 本 | (46,001,119) |
| | | 1. 資 本 金 | 30,690,000 |
| | | 2. 資 本 剰 余 金 | (0) |
| | | 3. 利 益 剰 余 金 | (15,311,119) |
| | | (1)そ の 他 利 益 剰 余 金 | (15,311,119) |
| | | 繰 越 利 益 剰 余 金 | 15,311,119 |
| | | II 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | (0) |
| III 繰 延 資 産 | (0) | III 新 株 予 約 権 | (0) |
| | | | |
| | | 純 資 産 の 部 合 計 | 46,001,119 |
| 資 産 の 部 合 計 | 72,468,497 | 負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計 | 72,468,497 |

損益計算書

平成30年 6月 1日から
令和 1年 5月31日まで

商号 株式会社 豊かな丘

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| I 売上高 | 273,007,718 | | |
| 内 部 売 上 高 | 673,873 | 273,681,591 | 273,681,591 |
| II 売上原価 | | 3,262,783 | |
| 上期首仕入れ | 162,071,431 | 162,745,304 | |
| 本期末仕入れ | 673,873 | 166,008,087 | |
| 上期末仕入れ | | 3,106,043 | 162,902,044 |
| 上期末仕入れ | | | 110,779,547 |
| III 販売費及び一般管理費 | | 93,826,626 | 93,826,626 |
| 販売費 | | | 16,952,921 |
| IV 営業外収益 | | 628 | |
| 雑収入 | | 1,509,828 | 1,510,456 |
| V 営業外費用 | | 61,781 | 61,781 |
| 雑損失 | | | |
| 経常利益 | | | 18,401,596 |
| VI 特別利益修正 | | 19,112 | 19,112 |
| 前期損益修正 | | | |
| VII 特別損失修正 | | 8,114 | 8,114 |
| 前期損益修正 | | | |
| 税引前当期純利益 | | | 18,412,594 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 5,332,000 | 5,332,000 |
| 当期純利益 | | | 13,080,594 |

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成30年 6月 1日から
令和 1年 5月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 |
|--------|------------|
| 販売員旅費 | 65,940 |
| 広告宣伝費 | 729,519 |
| 運賃 | 1,736,438 |
| その他 | 1,034,354 |
| の他の販売 | 3,520,000 |
| 役員報酬 | 60,668,043 |
| 給与 | 4,675,144 |
| 法定福利費 | 1,439,827 |
| 厚生費 | 550,152 |
| 減価償却費 | 35,000 |
| 地代家賃 | 865,240 |
| 修繕費 | 399,141 |
| 事務用品 | 622,188 |
| 通信費 | 7,062,777 |
| 水道光熱費 | 729,894 |
| 租税公課 | 5,000 |
| 寄付金 | 412,177 |
| 接待交際費 | 184,940 |
| 保険料 | 5,440,119 |
| その他消耗品 | 194,400 |
| 管理諸費 | 308,620 |
| 支払手数料 | 1,479,169 |
| 雑費 | 1,668,544 |
| 合 計 | 93,826,626 |

たな卸資産の計算内訳

令和 1年 5月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 |
|----------|-----------|
| 商品 | 63,781 |
| 原材料 | 1,438,147 |
| 仕掛品(半成品) | 1,604,115 |
| 貯蔵品 | 4,020 |
| 合 計 | 3,110,063 |

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 豊かな丘

平成30年 6月 1日から
令和 1年 5月31日まで

(単位：円)

| | | | |
|--------------|-------|------------|-------------------|
| I 株主資本 | | | |
| 1. 資本金 | 当期首残高 | | 8,990,000 |
| | 当期変動額 | | |
| | 新株の発行 | 21,700,000 | 21,700,000 |
| | 当期末残高 | | <u>30,690,000</u> |
| 2. 利益剰余金 | | | |
| (1) その他利益剰余金 | 当期首残高 | | 2,230,525 |
| 繰越利益剰余金 | 当期変動額 | | |
| | 当期純利益 | 13,080,594 | 13,080,594 |
| | 当期末残高 | | <u>15,311,119</u> |
| その他利益剰余金合計 | | | |
| | 当期首残高 | | 2,230,525 |
| | 当期変動額 | | |
| | 当期純利益 | 13,080,594 | 13,080,594 |
| | 当期末残高 | | <u>15,311,119</u> |
| 株主資本合計 | | | |
| | 当期首残高 | | 11,220,525 |
| | 当期変動額 | | |
| | 新株の発行 | 21,700,000 | |
| | 当期純利益 | 13,080,594 | 34,780,594 |
| | 当期末残高 | | <u>46,001,119</u> |
| II 評価・換算差額等 | | | |
| | 当期首残高 | | 0 |
| | 当期変動額 | | 0 |
| | 当期末残高 | | <u>0</u> |
| III 新株予約権 | | | |
| | 当期首残高 | | 0 |
| | 当期変動額 | | 0 |
| | 当期末残高 | | <u>0</u> |
| 純資産の部合計 | | | |
| | 当期首残高 | | 11,220,525 |
| | 当期変動額 | | |
| | 新株の発行 | 21,700,000 | |
| | 当期純利益 | 13,080,594 | 34,780,594 |
| | 当期末残高 | | <u>46,001,119</u> |

個別注記表

平成30年 6月 1日から

令和 1年 5月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 3,069株

IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、14,988.96円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、4,262.16円であります。

以 上